

# 平成21年11月期 第1四半期決算短信

平成21年4月8日

上場取引所 福

上場会社名 サンケイ化学株式会社  
 コード番号 4995 URL <http://www.sankei-chem.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福谷 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務本部長 (氏名) 宮下 武久  
 四半期報告書提出予定日 平成21年4月13日  
 配当支払開始予定日 —

TEL 099-268-7588

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年11月期第1四半期の連結業績(平成20年12月1日～平成21年2月28日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年11月期第1四半期	1,374	—	139	—	154	—	93	—
20年11月期第1四半期	1,085	△6.5	△14	—	△5	—	△34	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年11月期第1四半期	9.55	—
20年11月期第1四半期	△3.51	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年11月期第1四半期	5,905	1,778	29.3	176.91
20年11月期	5,748	1,709	28.8	169.03

(参考) 自己資本 21年11月期第1四半期 1,732百万円 20年11月期 1,656百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年11月期	—	—	—	1.00	1.00
21年11月期	—	—	—	—	—
21年11月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年11月期の連結業績予想(平成20年12月1日～平成21年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	3,450	1.6	190	62.6	199	58.4	104	107.0	10.60
連結累計期間	6,800	0.9	130	166.8	125	177.7	65	—	6.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年11月期第1四半期	10,197,000株	20年11月期	10,197,000株
② 期末自己株式数	21年11月期第1四半期	403,709株	20年11月期	399,748株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年11月期第1四半期	9,793,850株	20年11月期第1四半期	9,818,552株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。
- 2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの中心であります農薬販売及び防除事業は、季節的要因が大きく、第1四半期連結会計期間の売上高は他の四半期連結会計期間の売上高と比べ低水準に推移する傾向があります。

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機の解消が進まない中、輸出の急減から企業の設備投資や雇用の抑制等景気の後退感が強まり、個人消費も低迷しております。農業分野では食料自給率の向上や減反政策の見直しが進められておりますが、いまだ具体的な動きにはなっておりません。このような経済状況のもとで、当社グループは、従来からの地域密着を基本に、食品由来物質による「サンクリスタル乳剤」「ハッパ乳剤」並びに「ビオネクト」などの独自剤に加え、水田のスクミリンゴガイ防除薬剤「スクミノン」の本格販売を含めて、総合防除による環境保全型農業への推進、森林や公園・ゴルフ場等の緑化防除事業並びに不害虫防除薬剤の開発と防除事業などに注力するとともに受託生産にも努めて工場の操業度向上を図ってまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は13億74百万円で、前年同期比2億89百万円(26.7%)の増となりました。損益面では売上の増加を反映し、営業利益は1億39百万円(前年同期は14百万円の損失)、経常利益は1億54百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。当四半期純利益は93百万円(前年同期は34百万円の損失)となりました。

当社グループは事業の種類別セグメントは公表しておりませんが、製品の用途別売上は次のとおりであります。殺虫剤は8億97百万円、殺菌剤は1億61百万円、殺虫殺菌剤は80百万円、除草剤は99百万円、その他は63百万円、農薬外その他は72百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は59億5百万円で、前連結会計年度末に比べて1億56百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金並びに商品及び製品が増加したことによるものであります。

負債は41億26百万円で、前連結会計年度末に比べて87百万円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

純資産は17億78百万円で、前連結会計年度末に比べて69百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加し、8億66百万円となりました。当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、28百万円の増加となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億54百万円、売上債権の減少3億9百万円の資金増加が、たな卸資産の増加3億8百万円、仕入債務の減少71百万円の資金減少を上回ったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、17百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産の取得17百万円の資金減少によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億45百万円の増加となりました。これは主に短期借入金による1億70百万円の資金増加に対し、長期借入金の返済13百万円、配当金の支払9百万円の資金減少によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成20年11月期決算発表時(平成21年1月22日)に公表した第2四半期連結累計期間及び通期とも、本資料発表時において変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 1. 簡便な会計処理

## ① 固定資産の減価償却費の算定方法

年間減価償却費予算を基に、当第1四半期連結会計期間中に取得、売却又は除却等を行った重要な固定資産の減価償却費を実績に基づき調整し、当第1四半期連結会計期間の減価償却費を算定しております

## ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## 2. 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

## 1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 2. 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

## 3. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理に変更しております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	866,754	709,701
受取手形及び売掛金	1,754,427	1,884,923
信託受益権	559,170	737,701
商品及び製品	865,032	587,079
半製品	45,591	38,342
原材料	309,367	298,447
仕掛品	58,434	46,395
その他	170,920	171,709
貸倒引当金	△694	△1,497
流動資産合計	4,629,003	4,472,801
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	254,358	257,287
機械装置及び運搬具(純額)	147,739	152,344
土地	125,831	125,831
その他(純額)	38,491	34,236
有形固定資産合計	566,420	569,698
無形固定資産	3,123	3,149
投資その他の資産		
投資有価証券	466,710	459,022
その他	254,001	257,597
貸倒引当金	△14,100	△14,100
投資その他の資産合計	706,612	702,519
固定資産合計	1,276,156	1,275,366
資産合計	5,905,160	5,748,167

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,420,147	1,491,581
短期借入金	1,500,000	1,330,000
1年内返済予定の長期借入金	136,200	144,500
未払法人税等	50,232	31,141
賞与引当金	40,822	90,573
営業報償引当金	135,467	122,277
その他	264,959	245,185
流動負債合計	3,547,828	3,455,257
固定負債		
長期借入金	15,200	20,000
退職給付引当金	274,749	274,087
役員退職慰労引当金	77,517	75,130
その他	211,669	214,534
固定負債合計	579,136	583,751
負債合計	4,126,965	4,039,008
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,500	664,500
資本剰余金	295,451	295,451
利益剰余金	770,353	686,600
自己株式	△39,283	△39,017
株主資本合計	1,691,020	1,607,534
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	41,470	48,535
評価・換算差額等合計	41,470	48,535
少数株主持分	45,704	53,090
純資産合計	1,778,195	1,709,159
負債純資産合計	5,905,160	5,748,167

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)
売上高	1,374,686
売上原価	883,665
売上総利益	491,021
販売費及び一般管理費	351,973
営業利益	139,047
営業外収益	
受取利息	261
受取配当金	2,475
持分法による投資利益	18,965
その他	2,651
営業外収益合計	24,354
営業外費用	
支払利息	8,388
その他	793
営業外費用合計	9,181
経常利益	154,220
特別利益	
貸倒引当金戻入額	802
特別利益合計	802
特別損失	
固定資産除却損	154
環境対策費	735
特別損失合計	890
税金等調整前四半期純利益	154,133
法人税、住民税及び事業税	48,782
法人税等調整額	18,079
法人税等合計	66,862
少数株主損失(△)	△6,279
四半期純利益	93,550

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年12月1日 至 平成21年2月28日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	154,133
減価償却費	20,418
退職給付引当金の増減額(△は減少)	662
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,387
賞与引当金の増減額(△は減少)	△49,750
営業報償引当金の増減額(△は減少)	13,190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△802
受取利息及び受取配当金	△2,737
支払利息	8,388
持分法による投資損益(△は益)	△18,965
売上債権の増減額(△は増加)	309,026
たな卸資産の増減額(△は増加)	△308,161
仕入債務の増減額(△は減少)	△71,433
その他	6,980
小計	63,336
利息及び配当金の受取額	2,737
利息の支払額	△7,413
法人税等の支払額	△29,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,968
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△17,270
投資有価証券の取得による支出	△529
貸付金の回収による収入	182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,617
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	170,000
長期借入金の返済による支出	△13,100
自己株式の取得による支出	△266
配当金の支払額	△9,797
少数株主への配当金の支払額	△1,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	145,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	157,052
現金及び現金同等物の期首残高	709,701
現金及び現金同等物の四半期末残高	866,754

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

当社グループは、事業の種類として「農薬事業」及び「その他の事業」に区分していますが、当第1四半期連結累計会計期間に係る「農薬」事業の売上高、営業利益の割合がいずれも全セグメントの90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当社グループは、事業の種類別セグメント情報を開示しておりませんので、製品の用途別生産・販売実績を示すと次のとおりです。

## 1. 生産実績

種類	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)
農薬	
殺虫剤(千円)	532,078
殺菌剤(千円)	70,287
殺虫殺菌剤(千円)	34,440
除草剤(千円)	28,817
その他(千円)	29,520
小計(千円)	695,145
その他(千円)	7,731
合計(千円)	702,877

(注)金額は、製品製造原価で表示しており消費税等は含んでおりません。

## 2. 販売実績

種類	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)
農薬	
殺虫剤(千円)	897,918
殺菌剤(千円)	161,067
殺虫殺菌剤(千円)	80,377
除草剤(千円)	99,152
その他(千円)	63,608
小計(千円)	1,302,125
その他(千円)	72,561
合計(千円)	1,374,686

(注)金額には、消費税等は含んでおりません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

当第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年12月1日～平成20年2月29日)

科目	前年同四半期 (平成20年11月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,085,238
II 売上原価	797,005
売上総利益	288,234
III 販売費及び一般管理費	302,235
営業損失(△)	△14,001
IV 営業外収益	17,284
V 営業外費用	8,651
経常損失(△)	△5,368
VI 特別利益	842
VII 特別損失	-
税金等調整前四半期純損失 (△)	△4,527
法人税・住民税及び事業税	573
法人税等調整額	34,133
少数株主損失(△)	△4,790
四半期純損失(△)	△34,443

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年12月1日～平成20年2月29日)

	前年同四半期 (平成20年11月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△4,527
減価償却費	19,855
貸倒引当金の増減額	△842
賞与引当金の増減額	△46,236
退職給付引当金の増減額	△77
営業報償引当金の増減額	△21,977
受取利息及び配当金	△2,665
支払利息	8,614
持分法による投資利益	△12,205
売上債権の増減額	232,762
たな卸資産の増減額	△402,803
仕入債務の増減額	162,165
その他	△109,266
小計	△177,201
法人税等の支払額	△5,551
その他	△6,229
営業活動によるキャッシュ・フロー	△188,981
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△17,763
投資有価証券の取得による支出	△535
貸付金の返済による収入	143
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,155
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	620,000
長期借入金の返済による支出	△46,500
配当金の支払額	△9,819
その他	△1,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	562,408
IV 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	355,272
V 現金及び現金同等物の期首残高	614,984
VI 現金及び現金同等物の期末残高	970,256